

高精度測位社会プロジェクトについて

目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催時に、訪日外国人を含む誰もがストレスを感じることなく円滑に移動・活動できるストレスフリー社会を実現

課題

- 屋内で人（スマートフォン等）の位置を測位する環境がない。
- 測位ができた結果を表示する屋内の電子地図がない。（限定的に整備されており、面的サービスが提供できていない。）
- 屋内の地図を整備・更新し、市場へ流通させる仕組み、体制が確立されていない。

サービスイメージ



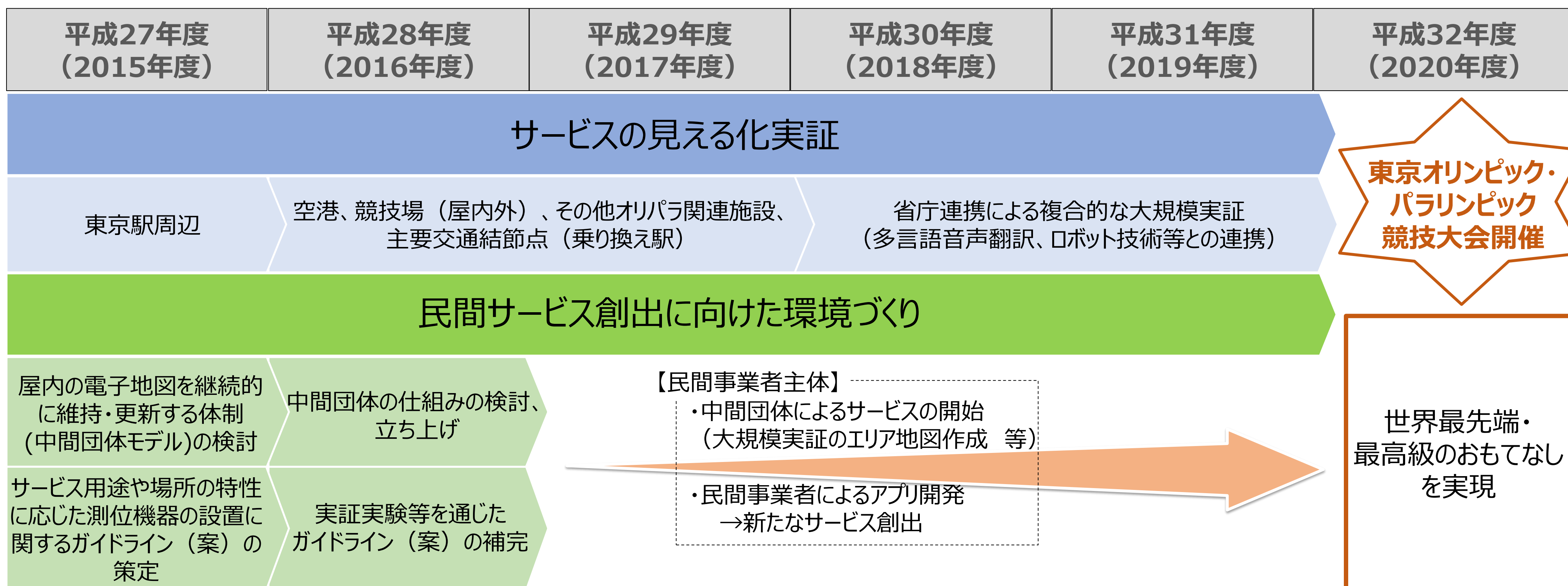
■ 東京駅周辺において、先行的に屋内の電子地図等を整備し、ナビゲーションサービス等の実証実験を実施！！ ■

【実証期間】 平成28年1月上旬～3月上旬

【実証エリア】 東京駅周辺（大手町・丸の内・有楽町、銀座、八重洲の一部）

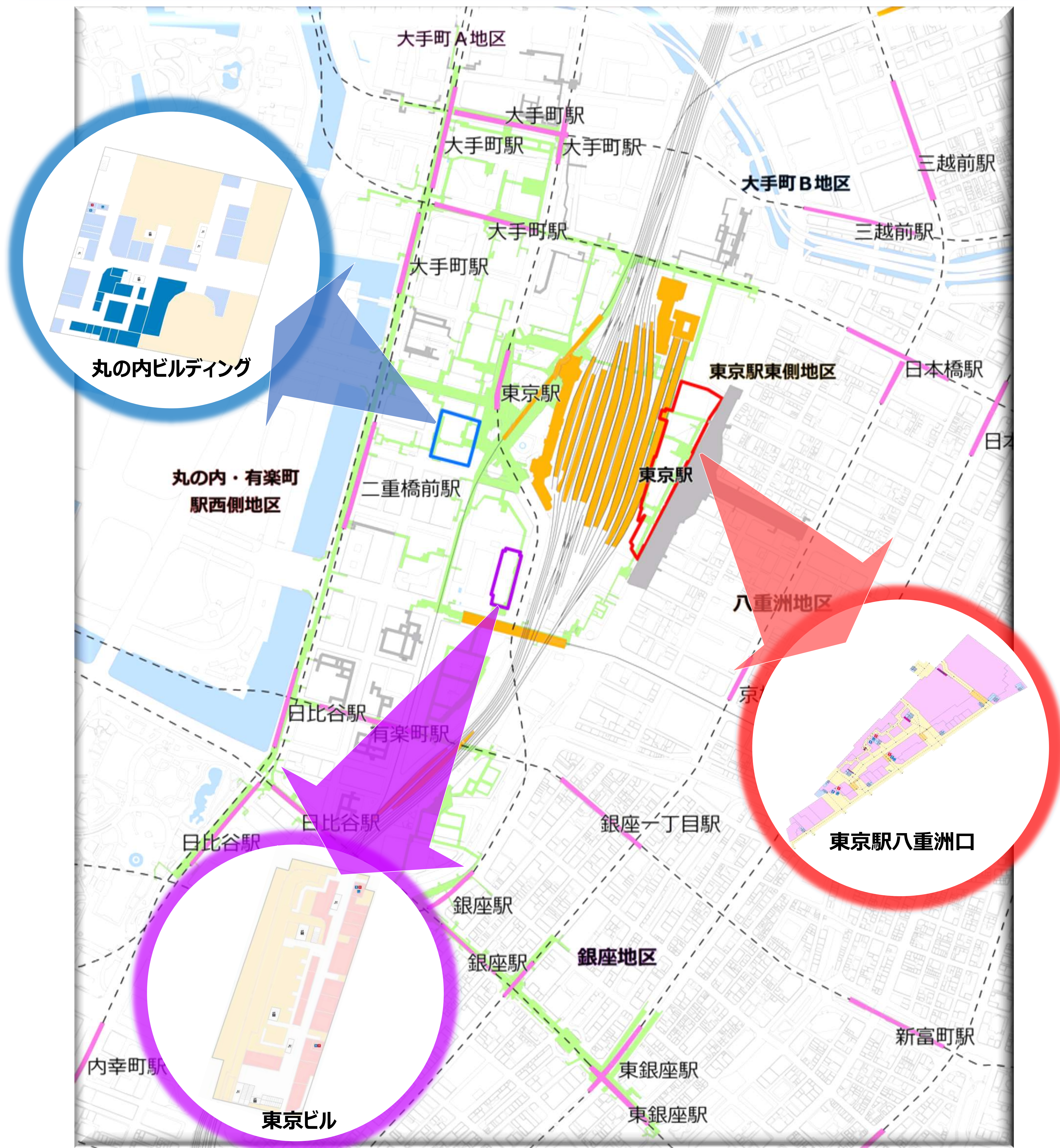
※参考：国土交通省国土政策局国土情報課ＨＰ（高精度測位社会プロジェクト）
http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk1_000079.html

ロードマップ



屋内外シームレス地図

平成28年1月上旬から実施予定の実証実験に向けて、東京駅周辺の概ね地下のつながった範囲において、歩行者ナビゲーションサービスをはじめとした多様なサービスの基盤となる「**屋内外シームレス地図**」を作成しています。



※屋内地図は、既存の地図素材（フロアマップ、施設・設備管理図面等）を活用し、国土地理院で検討している屋内地図仕様書の前案に準拠します。

※実際の屋内シームレス地図の作成範囲は、変更となる可能性があります。